

消防大学校における教育訓練等に関する検討会（第1回）

議事概要

1 日 時 令和7年10月16日（木） 10:00～12:00

2 場 所 消防研究センター中会議室

3 出席者（敬称略）

〔座長〕 吉田悦教

〔委員〕 上田伸次郎、大塚大輔、岡本優司、金子裕一郎、下重美佐男、瀬川浩樹、
田中雄章、千葉周平、西本和人、道園由紀、宮川江美

4 議事次第

(1) 開会

(2) 消防大学校長挨拶

(3) 委員紹介

(4) 座長選出

(5) 意見交換

① 検討会の進め方及びスケジュールについて

② 主な検討事項について

③ その他

(6) 閉会

5 議事概要

事務局から配付資料に関する説明の後、質疑応答を交え、検討課題、論点等について議論した。委員の主な発言は以下のとおり。

(1) 時代に即した学科・コースの展開に関すること

① 緊急消防援助隊教育コースの充実強化について

【委員】

緊援隊が増隊されていて、緊援隊が出る災害も多様化していて、林野火災であったりとか、豪雨災害であったりとか、今まであまり想定しなかった災害にも出ると考えると、多様な災害における安全管理というのを指揮支援隊長として学んでいただくことはとても重要なので、これをどんどん充実させていくという方向性については賛成である。

【委員】

かつて、消防大学校でシミュレーション訓練を受けたが、受援と応援に分かれての訓練は大変有効だった。その中でいかに指揮支援部隊長が都道府県と関連して災害対応に当たっていくか、ということは非常に重要なこと。

【委員】

過去からの教訓となった災害を踏まえて訓練をかなり厳しめにやっているが、他機関連携については、いつも非常に苦勞している。過去の事例を踏まえたシミュレーションをやって、実際とシミュレーションの結果がどう違うのかというのを比較してみるのも、いい訓練になるのではないかな。

② 女性活躍推進コースの充実強化について

【委員】

受講生の事情を踏まえると現状の日程が妥当かという気がする一方、より長期にわたって勉強したいのであれば他の学科に参加してもらえばいいと思うが、これらにはほとんど手が上がらないということか。何か制約があるのか。

【事務局】

このコースと他の学科等の間で参加に支障をきたすような制約はなく、女性消防吏員の参加については優先枠を設けている。絶対数が少ないこともあろうが、まずはこのコースから入っていただいて、というのが現状である。なお、本コースでは、他の教育訓練との比較において、階級による受講要件を一部緩和している。

【委員】

家庭との両立というか、特に長期間こちらへ出てこないといけないという問題があるが、集団研修で同じ講義を受けるのは意味があり、他の教育機関でも、座学については一部、ウェブでの聴講を認めたり、近隣であれば宿泊せずに帰るということも認めたりしているので、検討いただきたい。

③ 幹部科の教育訓練の見直しについて

【委員】

幹部科を縮小したとして、当然、消防大学校に行けなくなる人、送り出せなくなる消防本部が出てくるが、見直しにより他の学科等を拡充することは、ニーズに合っているという理解でよいかな。

【事務局】

例えば、令和6年度の幹部科第1回目は、定員に対する入校希望割合がちょうど1倍となっている。もちろん、年度当初に始まる学科等では、事務手続きや人事異動の問題があり、相対的に倍率が低いことはあるが、それを踏まえても高いとは言えない。なお、見直しに当たって減ってしまう定員については、他の期の定員を増やすなどして、最適化していきたい。

【委員】

幹部科の教育内容は非常に充実していて、消防本部としては非常にありがたいと感じている。年度当初の希望が少ないというのは本部の事情、人事異動などの関係もあると思うが、見直しの代わりに他の定員を引き上げるなど、工夫をしながら継続して受講させてほしい。

④ 時代の流れに則した先進的分野等の授業展開について

【委員】

新技術に対して、これを受け入れて使いこなしていく人材が必要であるという意見が消防本部からも上がっており、幹部教育を受ける方に身に付けていただくことは非常に重要なので、しっかり進めていただきたい。

【委員】

ハラスメントについては、消防本部ではなかなか根絶できてないところもあり、報道等による社会的インパクトが大きいので、この分野に関しては、しっかり拡充していただきたい。

(2) 教育訓練の高度化のための設備等の整備に関すること

【委員】

現場から申し上げても、やはり建物火災が非常に少なく、燃えにくい建物が増えているが、経験が少ない職員が非常に多く、大丈夫かなと心配することもある。消防大学校で行う教育というのは非常に有用であり、それを地方へ波及させていきたい。

【委員】

防火衣の除染については、消防本部ごとに意識の高低がまだまだあり、消防大学校がこういうことをやっているぞ、という波及効果もきっとあるので、ぜひ進めていただきたい。

(3) 教育の質を成果指標とする取組に関すること

【委員】

教育機関では、成果指標などで評価するというのは当たり前にはなっている。もちろん、学生が満足する授業がいい授業とは限らないが、今回の提案には上司の評価も入っているので、カバーできている。

(4) 宿泊研修施設として必要とされる機能等の強化に関すること

【委員】

予算が絡む話ではあるが、感染症対策とか、女性活躍の観点などからも、消防本部に対して部屋の個室化をお願いしているので、大学校でも検討いただきたい。

【委員】

性の多様性に関して、配慮が必要な学生が入校している消防学校が実際に幾つかあると聞いており、これに配慮した施設についても、ぜひ進めなくてはならないというのが現状ではないか。